

横浜市長
山中 竹春 様

「横浜市が目指す特別市」の実現に向けた取組について

日頃から、緑区の地域活動を御支援いただき、厚く御礼申し上げます。

「横浜市が目指す特別市」について、令和4年9月20日に、山中市長自ら緑区役所にお越しいただき、データや身近な事例を用いて御説明いただいたことに感謝申し上げます。

また、その際、より詳しく説明を伺いたいと感じた部分について、令和5年8月10日に、政策局大都市制度推進本部室長にお越しいただき、お話しを伺うことができました。

これまでの御説明で、日本最大の基礎自治体である横浜市が抱える大都市の課題について、改めて認識を深めることができました。我々区民の日常生活では、市と県の二重行政というのは、具体的に感じにくいものもありますが、今後の人口減少によって様々な社会問題が懸念される中で、抜本的な対策に早急に取り組むことは重要です。

特別市の実現を目指すのであれば、区民がその内容や意義を正しく理解することが非常に重要です。市長におかれましても、地域での説明会の際などには、将来の横浜市の姿が見えるような具体的な事例を添えてお話いただければ幸いです。

また、私たちは、横浜市民であるとともに神奈川県民としても生活していますので、横浜市が特別市に移行したとしても、県内の他市町村が不利益を被ることのないよう、公平性を持って取り組んでいただくことを望みます。

「横浜市が目指す特別市」について、多くの市民・区民にその内容と意義が伝わるよう、今後とも、丁寧に取り組を進めていただくことをお願いして、本意見書を提出します。

令和5年10月6日
緑区連合自治会長会
会長 木村 赳